

「トランス脂肪酸等に関する情報開示について」

ソントンホールディングス(株)
食品安全衛生管理室

本来「脂肪酸」とは、食品の三大栄養素である脂質を構成する成分のひとつで、人にとって重要なエネルギー源です。

「トランス脂肪酸」はこの脂質を構成する「脂肪酸」の一種で、加工油脂や牛などの動物の胃の中でも作られ、牛乳にも含まれています。

この脂肪酸を摂取し過ぎると生活習慣病を引起す恐れがあるといわれていますが、現在の標準的な日本の食生活では脂肪酸の摂取量は少なく、内閣府食品安全委員会の評価でも、日本人の大多数が WHO の勧告（目標）基準であるエネルギー比の 1%未満であり、また健康への影響を評価できるレベルを下回っていることから健康への影響は小さいと考えられています。

しかし、長い間トランス脂肪酸、飽和脂肪酸およびコレステロールが含まれる脂肪酸を日常生活で多くとりすぎると、心臓疾患や脳卒中などの生活習慣病を疾患発症する可能性は高くなります。

トランス脂肪酸に限らず脂肪の多い食品を食べ過ぎるといった偏った食生活をせず、さまざまな食品をバランスよくとることが、心臓疾患や脳卒中など生活習慣病の予防には重要です。

脂肪の多い食品を過度にとり、生活習慣病が社会問題となっているアメリカでは、脂肪、特にトランス脂肪酸の摂取と心臓疾患や脳卒中などの疾患との関連性が指摘されており、2018年には、脂肪全体の摂取の制限ではなく、トランス脂肪酸を含む部分水素添加の加工油脂の使用のみを大幅に制限する措置がなされます。

弊社では数年前より加工油脂由来のトランス脂肪酸の低減化に取り組んでおり、現在では弊社商品の原材料油脂由来のトランス脂肪酸は従来約 10%にまで低減化が図られています。

また、お客様に安心して弊社商品をご愛顧いただき、バランスのよい食生活をおくっていただくために、弊社商品の一食当たりまた 100g 当りの、一般栄養成分、トランス脂肪酸、飽和脂肪酸およびコレステロールの情報をホームページで開示することに致しました。

トランス脂肪酸、飽和脂肪酸、コレステロールの掲載値は、原材料メーカーの情報により算出したもの、あるいは食品衛生法に基づく登録機関の分析によるものです。

（トランス脂肪酸の分析は AOAC 996.06 によります。）

私たちソントングループは今後もおいしさを維持しながらトランス脂肪酸の低減化を進めると共に、安全な商品をお届けし、安心してお客様に食していただけるよう、科学的根拠に基づいた適切な情報を提供してまいります。

尚「トランス脂肪酸」の詳細、摂取量、情報の開示等につきましては

農林水産省のホームページ

http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/t_wakaru/index.html

内閣府食品安全委員会のホームページ

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/evaluationDocument/show/kya20120308001>

<http://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets/54kai-factsheets-trans.pdf>

をご参照ください。